

ユーラシアンホットライン

華やかなシルクロード、アジアの『舞姫の競演』へぜひおいでください

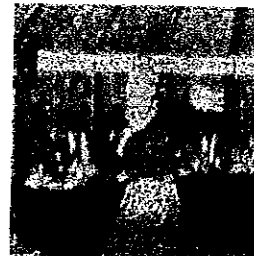
—シルクロード、アジアのソロ舞踊 16 曲計 20 曲に上る完全保存版の舞

踊コンサートです

—文化や芸術がわかるコンサートです

—諸民族の共生へのメッセージです

ボランティアスタッフの奮闘にも関わらずチケット頒布に苦戦しています。ご協力を願います。ご家族、友人、知人と連れ立って、今回の感動の舞台に足を運んでいただけるよう、事務局一堂心からお待ちしています。



シャフリゾード「セゴフ(マコムから)」ウズベキスタン・フェルガナの舞踊
グリザール「天山の水」ウイグルの古い民謡に振付した舞踊
サルナ「牧民の踊り」ゆったりとした大草原を思わせる表現
マンダブイン「トフシュール」一味違う牧民の踊り

藤間 多寿彰

「みちのく三番叟」

みちのくは今年もお米がどっさり取れて長者様になれたという、めでたい祝儀曲(立ち役)

「唐傘」

唐傘の骨はバラバラでもしっかりと糸で絡まりあって離れられないという男女の仲を唐傘に例えて歌った曲(女形)

シャフリゾード「サナムギナム」

フェルガナの舞踊

グリザール「恋人」

恋人への思いを表現

シャフリゾード「ラズギ」

ホレズムの熱情的踊り

サルナ「杯の踊り」

宴会、結婚式などで踊る

シャフリゾード「アラブ」

アラブの舞踊

マンダブイン「モンゴル人」

草原をイメージした舞踊

シャフリゾード「マルワリド」

現代フェルガナ舞踊

グリザール「希望」

結婚式、お祭りの歓喜を表現

マンダブイン「オイラト娘」

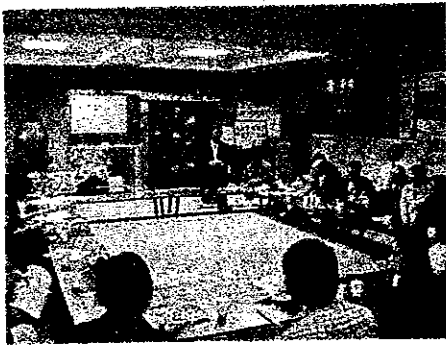
青い衣装

シャフリゾード「ブハラドウフタリ」

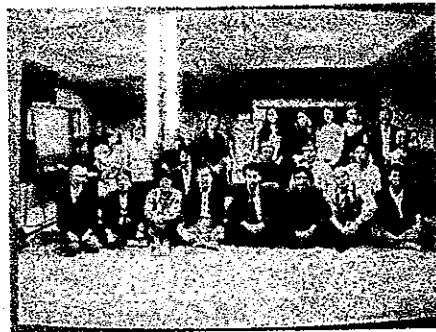
★ 出演者はこの他、西域音楽界の指導者ウメル・ママットらが特別協力出演します。

公演日時：2002年6月19日(金)午後6時半会場、午後7時開演
場所：板橋区立文化会館小ホール(東武東上線大山駅下車徒歩2分)
入場料：一般前売り三千円(当日三千五百円)、高校生千円、留学生無料

問合せ：ユーラシアンクラブ 03-5371-5548 に電話、もしくは留守電にお名前、連絡先を残してください。
もしくは郵便振替ユーラシアンクラブ 00190-7-8-7777 で「舞姫希望」と書いてお振込ください。
当日受付でチケットとお引き換えいたします。



会場を提供した
鈴木 啓三さん



留学生フォーラム2002

6月29日、駒込和装学院にてユーラシアンクラブ主催の留学生フォーラムが行われました。当日は雨天にもかかわらず、ユーラシアからの留学生・日本人あわせて30人以上の方が集まり、留学生によるスピーチ、民族音楽・舞踊を通して、お互いの理解、親睦を図る事が出来ました。フォーラムの最後に駒込和装学院の鈴木啓三さんから着物の解説をして頂きました。特に留学生にとっては普段なかなか触れることの無い日本の伝統衣装『きもの』を、実物を前にした分かりやすい解説により、その美しさ、奥深さを心ゆくまで味わう事が出来たと思います。ユーラシアンクラブとしても今回のフォーラムを通して、今後の催しにつながる良い結果が得られたと思っております。

1. スピーチ

☆ベトナムさん (イラン)

日本人の中には、イランは過激なイスラム国家であり、危ないと思っている人もいますが、日本人が思うような過激な国ではなく、非常に歴史、文化豊かな国である。どの国にも危険な場所はあるもので、『イラン=危険な国』というイメージは間違っている。実際熱心にお祈りをしている人は全体の20%位である。イランで使われているペルシャ語はアフガニスタンでも通じる。

☆ハルーンさん (パキスタン)

1947年8月英国より独立し、現在は日本の約2.5倍の国土に1億4千万人が住む。国民の97%がイスラム教徒、2%がキリスト教徒、他はヒンズー教徒などである。パキスタン人は基本的にナショナリズムが少なく、他国も含めてイスラム教徒は皆が兄弟という考えである。そしてイスラム圏初の女性首相・ブット女史にも代表されるように、女性を非常に大事にする国である。しかし教育水準の問題から、国民全体がイスラム教を正確に理解しているとは言えないのが現状。

☆シャフリゾードさん (ウズベキスタン)

ウズベキスタンは山地、平野、砂漠が広がり、気候も45℃ある真夏から、氷点下になり降雪のある真冬までと非常に変化に富んだ国であり、首都のタシュケントは中央アジアで唯一地下鉄の走る大都市として知られている。信仰は原則としては自由であるが、多くのウズベク人がイスラム教徒である。しかし比較的規制が少なく、ほとんどのイスラム教徒がアルコールを飲んでいる。サマルカンドやブハラでは主にタジク語が使われている。

☆アザトさん (トルクメニスタン)

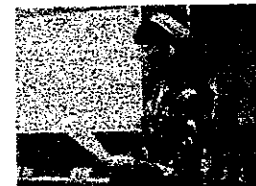
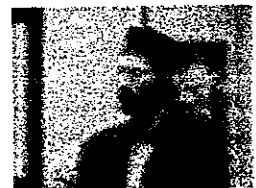
トルクメニスタンの国章、国旗、地理的位置、歴史、旧ソビエト時代から独立後の現在に至るまでの社会構造、永世中立国としての平和政策などについて。国章の中心に描かれる馬・アハルテケは、かつて世界中の権力者たちが競ってその名馬獲得に奔走した、トルクメニスタン最高の誇りである。

☆ディルショドさん (ウズベキスタン)

ウズベキスタンの銀行の現状について説明、「ウズベキスタンへ投資を」とアピール。

2. 民族音楽・舞踊

バドマさん (ロシア・カルムイク共和国) によるドンブラの演奏と、マンドブインさん (中国・新疆ウイグル自治区) によるオイラートモンゴルの舞踊「トフシュール」が紹介されました。



【歴史探検隊の案内】

歴史の道を調べて、学び、旅して、記録して、伝える。こんなライフワークを楽しみながら人生を過ごしたい、しかも自分が楽しみながら何らかの形で社会に貢献したいと考えて、1996年に設立しました。最初に取り組んだのは、「西安チャリティーウォーキング」です。中国の西安にある約1400年前の唐時代の遺跡を歩きました。日本からの遣唐使が使ったであろう東の門、皇帝に接見するためにかけた含元殿、空海が修行した青龍寺、楊貴妃が玄宗皇帝と過ごした華清池など。これらの周辺を歩きながら、遺跡も見学しました。参加費の一部を世界遺産である秦の始皇帝陵に保存することもあり、旅の準備段階では、学習院の鶴巻先生の講演を聞いたり、自分達でも調べて発表して、事前学習としました。西安では、始皇帝陵博物館館長の講演も聞きました。発掘現場での研究の様子もつかえました。翌年は、敦煌チャリティーウォーキングで、玉門関を中心に東西南北へ、それぞれ15キロメートルくらい歩きました。漢の時代の玉門関の防人達の、あるいは旅人の、あるいは異民族の見た風景を追体験したかったのです。

その後、日本国内で防人の道と称して、茨城県の鹿島神宮から大宰府まで歩きました。今年からは、「ツール・ド・シルクロード20年計画」の10年目。プハラからアシガバードを自転車とウォーキングで旅します。ちょっと寄り道して、トルクメン・バシにある日本人墓地とカスピ海を訪ねてきます。

文責 歴史探検隊代表 長澤法隆

問合せ先 〒186-0003東京都国立市富士見台2-37-9-301

電話042-573-7667 FAX042-573-7668

【寺沢潤世氏動静】 「ユーラシア紛争地特別フォーラム」で報告いただいた日本山妙法寺の僧侶、寺沢潤世氏がインドパキスタンの平和を呼びかける活動を強化しています。

南無妙法蓮華經

イスタンブール

二〇〇二年六月二十四日

合掌。しばらく連絡できませんでした。御地の方はいかがですか。ついには日本は向かわずに、ウクライナに直行し、およそ二週間ばかり、キエフ、ダネツク、ルガンスク、ハリコフの各道場を一巡しました。約十ヵ月ぶりに各地のお弟子や信者の人たちに再会しました。ロシア秘密情報局のブラックリストがついにウクライナ入国に影響したのかと心配しましたが、まだウクライナの入国と活動は可能のようです。ロシアからもお弟子たちがかけつけ、これからのパキスタン、インドの立正安国の行脚の計画を練りました。

在キエフのパキスタン大使、またインド大使館を訪れ、基本的な平和行進の趣旨を理解していただき、賛同を得ることができました。私他二名が随行します。まずパキスタンに先行します。去る二日前イスタンブールに入り、明日パキスタンの首都イスラマバードに出発します。

基本的な軍事対決の状況は変わっていませんが、大国の外交的圧力でしばし小康が保たれています。しかし、パキスタン、インド両方の民意と内外の政治要因は油断を許しません。双方の宗教的熱狂が先鋭化し、アフガニスタン、中東、イスラムテロにかかわる国際政治の動向とも

深く連鎖反応していく可能性があります。

眼前の危機の深奥に正法隠没した西天インド亜大陸に正法還帰の仏記が在します。正に一天四海皆掃妙法する立正安国の中心舞台が現代のインド亜大陸となりました。

パキスタン側は、この平和行進の画期的真意を受け入れる内外の環境が生まれています。撃鼓宣令の折りが仏法滅亡の後一千有余年を経て、この地にひびく時が巡ってきました。先年パキスタンを巡行した際、ガンダーラ仏塔から出土したお仏舍利を感得したのは、その靈瑞でありました。

印パカシミール紛争の根を調伏するには、ヒンズー教、イスラム以前のアショカ大王の法(ダルマ)の勝利の理念が、インド、パキスタン双方に復活共有されねばなりません。その法を宣揚し、法の鼓を撃ち、法の巡行を再興するのが、この行進の本意であります。パキスタン側とインド側に存在するアショカ王、カニシカ王の遺跡を中心に、この行進を準備するつもりです。

まず三名でパキスタンに入り、政府、地元NGOと協議を進め、次にネパール経由でインド入りしてインド側の準備をした上で、ロシア、ウクライナから三名ずつ、またチェチェンの青年を四名、中央アジアから二名をインドに呼び、十二名と私たち同行三名の十五名で、インドから行動を開始します。

サンチーのアショカの仏塔、マトゥーラ、グジュラート、バンジャールのアショカ、カニシカの

遺跡で行進の成満を御祈念し、インド大衆に宣布した上で、現在封鎖されているインド、パキスタン国境を特別に通過してパキスタンに入り、タキシーラのアショカ大塔から平和行進を開始し、スワット、ペシャワール、カシミールを広く巡って、八月六日頃にインド国境に達し、また、インド側の行進に入るのがおおむねの計画であります。

また、ゴルバチョフ氏、ヨルダンのハッサン王子、クリントン氏などにこの平和行進の支援をよびかけています。

三週間後にはデリーに集結する計画です。おそらくここ十日間はパキスタンの準備に入ります。七月十日にはデリー入りするつもりです。

またモスクワでは、一年かけて先年亡くなったイグナトビッチ先生の日蓮聖人様の三大部のロシア語出版が準備されてきました。宗門側からの援助が得られず、結局、石井上人のグループが出版の費用を負担されるとのこと、大変なことでありますが、今正に旧ソ連の各国にこの法門が学ばねばならない時であります。良福田に最良の善根功徳を植えられる所以であります。文明の歴史が書き換えられる行為であります。そのお志を感嘆喜するものであります。

合掌

寺沢潤世拝

《アフガニスタン理解のための催し》

日時：7月13日から31日まで

場所：世田谷文化生活情報センター生活工房

お問合せ：電話 503-5432-1543 ファックス 03-5432-1559

ホームページ：<http://www.setagaya-ac.or.jp/ldc/>

内容：①小林豊 絵本原画展②うたとおはなし 横井久美子

③アフガニスタン料理教室 アラヤリ・A・ラウフ

④セミナー「アフガニスタン難民の日々」 永井真理（国境なき医師団）

★★シカチアリヤン村コミュニティキャンプ整備に第一次募金3810ドル送金★★

一村の二つ目の井戸改修を目指す。アムール流域の先住民族ナナイの村おこしへの第一歩—
—ナナイ、ウデグ先住民族村親睦旅行募集中—

ユーラシアンクラブが10年間、交流を続けるロシア極東の先住民族村には、井戸が一つしかありません。村の子供たちが水運びの主役で、村の中心にある井戸まで運びこみます。給水ポンプがたまに村を回ることもありますが不定期で。こうした浄水環境では、アムール漁労の構造改善に欠かせない養殖用の水源や農業用水など村おこしもままなりません。今回、修復を決めた井戸は、村の北端のキャンプ地にあり、村の中心にあるくぼ地の井戸よりも高所にあつて運びやすいほか、将来上水施設が整えば村中で使用可能な位置になります。また、キャンプ地をコミュニティキャンプとして住民が管理するため「管理委員会」が村に発足、養殖の研究開発を行ったり、大豆の栽培、加工の可能性を探るなどの検討が行われています。今後募金や技術協力等の活動を進めるためユーラシアンクラブに「シカチアリヤンコミュニティキャンプサポート委員会」（木野保幸委員長）が設置されています。キャンプ修復の第一段階として送金された3810ドルは、横浜市の横浜南陵ロータリークラブからの30万円および実行委員会からの個人寄付で行われました。

今後募金だけでなく技術協力していただける方やボランティアを募集することも検討中です。8月16日から23日まで、極東先住民族村を視察、交流するツアーを行います。旅行代金は13万円です。ご希望の方はお知らせください。

先住民族ナナイのシカチアリヤン村外れにあるキャンプ。井戸、建物を修復しコミュニティキャンプの計画中。



★ ユーラシアンクラブのサポート会員募集中！

理解親睦協力を促進するクラブの活動は、無報酬のボランティアスタッフが毎週ミーティングを行い、役割を分担しながら実施されています。活動の拠点となる新宿南口の会議室は、ボランティアスタッフ自身が3千円、5千円、1万円と資金を出し合いながら維持されています。ユーラシア紛争地フォーラムを継承したユーラシアンフォーラムの設立準備も進んでおり、秋には実施。先住民族ナナイ、ウデグとの交流、村おこし事業も今後着実に発展させる予定です。ユーラシアの芸能を通じた理解促進活動の計画的に進めていきます。情報通信ネットワークボイスオブユーラシアも、海外の留学生との間で話し合いを進行中です。毎月の通信費も高額にならざるを得ない状況にあります。皆様のご支援をお願いします。「サポート会員」会費は、年会費1万2千円です。

（発行）特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ（発行人）大野 遼（住所）〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-13-2 第一広田ビル（電話/ファックス）03-5371-5548（E-MAIL）paf02266@nifty.ne.jp（ホームページ）<http://homenage1.nifty.com/EJ/URASIANCLUB/>